

《最近の県内経済》 (2024年2月を中心として)

今月の概要

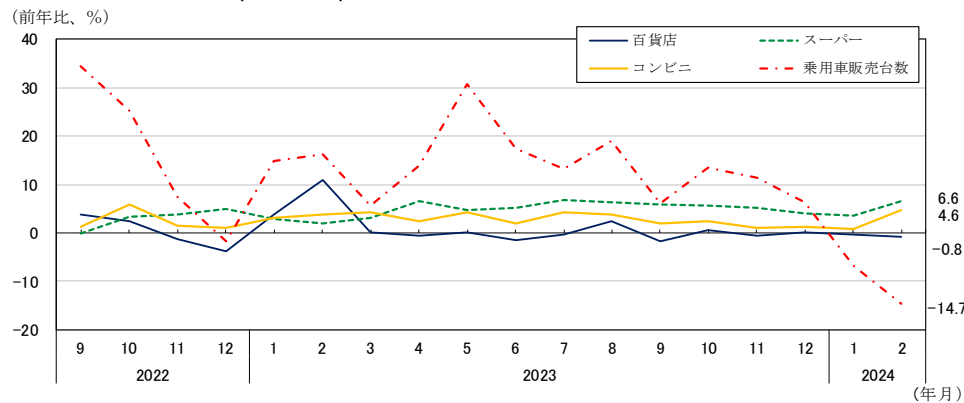
横ばいの動きとなっている。



1 個人消費 ~横ばいの動きとなっている

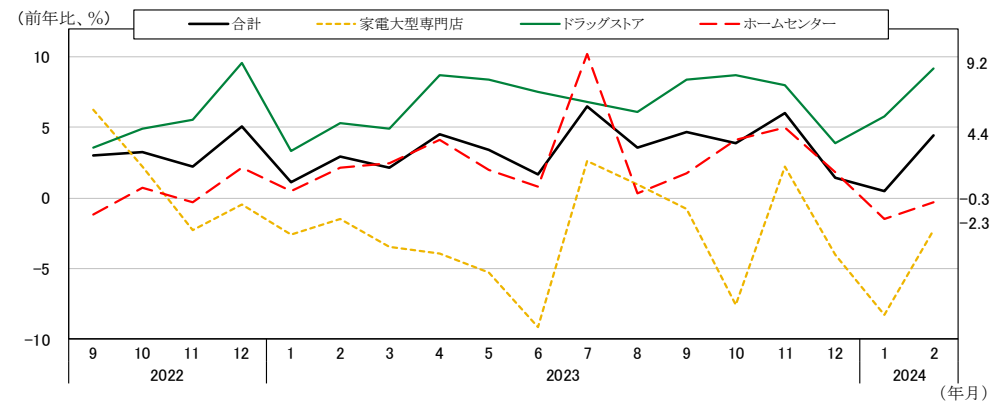


百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、横ばいの動きとなっている。

2月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は104億円で前年比0.8%減（2か月連続の減少）、スーパーは993億円で同6.6%増（17か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は519億円で同4.6%増と28か月連続の増加となった。

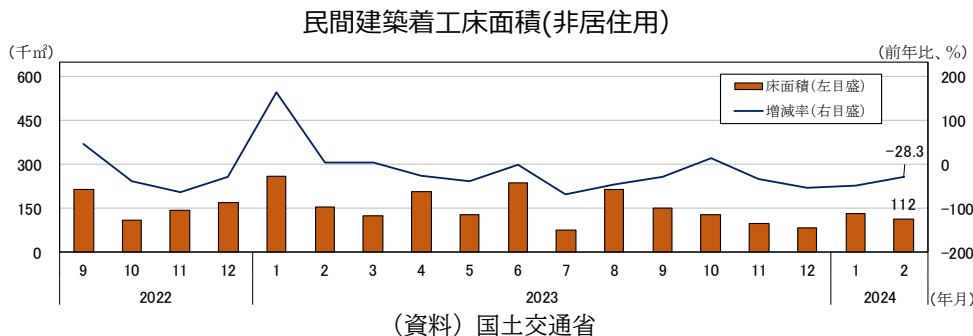
また、乗用車販売は、認証試験不正による出荷停止の影響が続いており、前年比14.7%減と2か月連続の減少となった。内訳をみると、普通車が同比3.4%減（14か月ぶりの減少）、小型車が同比32.7%減（6か月連続の減少）、軽乗用車が同比17.7%減（4か月連続の減少）となった。

2月の専門量販店販売額は、717億円で前年比4.4%増と18か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が157億円で同2.3%減（3か月連続の減少）、ホームセンターが156億円で同0.3%減（2か月連続の減少）となったものの、ドラッグストアが404億円で同9.2%増（21か月連続の増加）となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、1月〈39.0〉、2月〈39.5〉、3月〈40.7〉と推移している。

## 2 設備投資 ~投資計画は強いものの、足元弱含んでいる

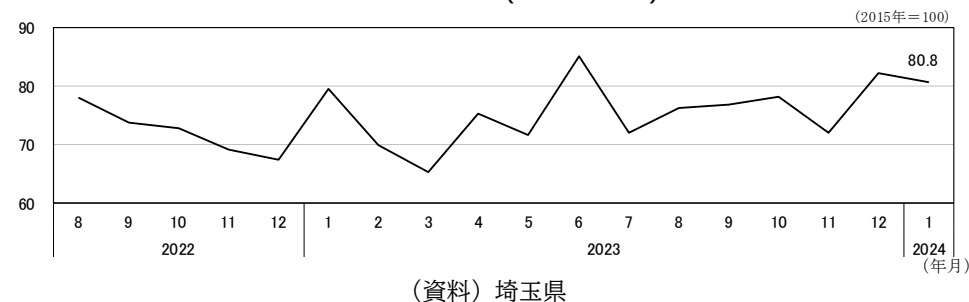
前月比



2月の民間建築着工床面積(非居住用)は、112千㎡で前年比28.3%減と4か月連続の減少となった(5か月後方移動平均でも前年比34.9%減)。用途別にみると、事務所、工場及び作業場、学校の校舎、病院・診療所は増加したものの、店舗、倉庫はいずれも減少した。

## 資本財出荷指数(季節調整済)

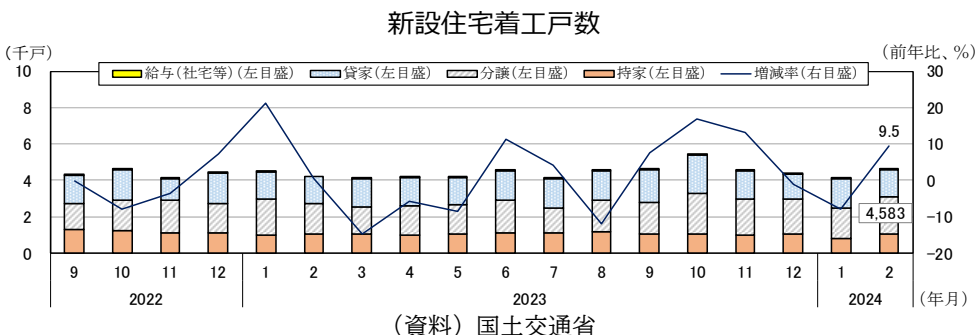
(2015年=100)



1月の資本財出荷指数(季節調整済)は80.8で、前月比1.8%減と2か月ぶりの減少となった(5か月後方移動平均では、前年比0.9%増加)。当研究所が8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している(全産業前年比+8.8%)。

## 3 住宅建設 ~一進一退

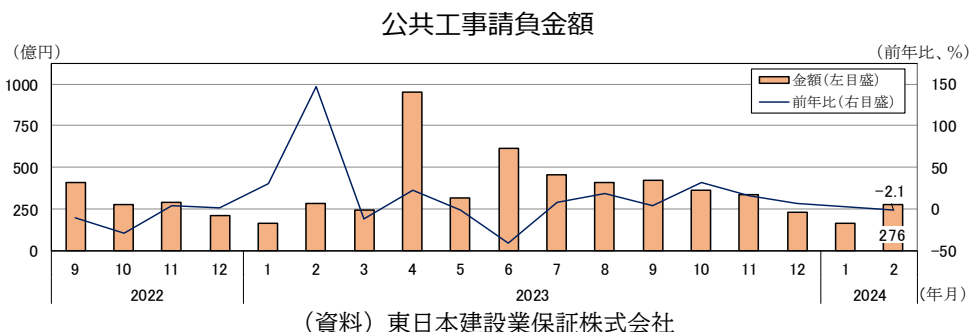
前月比



2月の新設住宅着工戸数は、4,583戸で前年比9.5%増と3か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では6.1%増)。利用関係別にみると、持家(1,055戸)が前年比0.4%減、貸家(1,479戸)が同0.3%減、分譲一戸建て(1,177戸)が同9.4%減となったものの、分譲マンション(868戸)が同24.5%増加した。

## 4 公共工事 ~横ばいとなっている

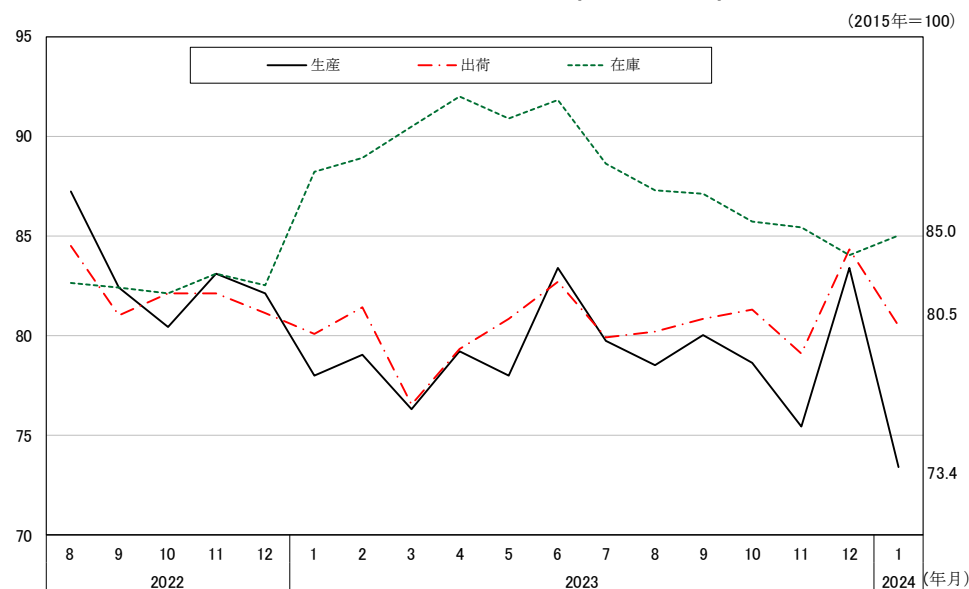
前月比



2月の公共工事請負額は276億円、前年比2.1%減となった(8か月ぶりの減少)。5か月後方移動平均では前年比11.9%増で推移。発注者別の前年比をみると、国、都道府県は増加したものの、独立行政法人等、市区町村はいずれも減少した。

## 5 生産活動～弱含んでいる 前月比

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



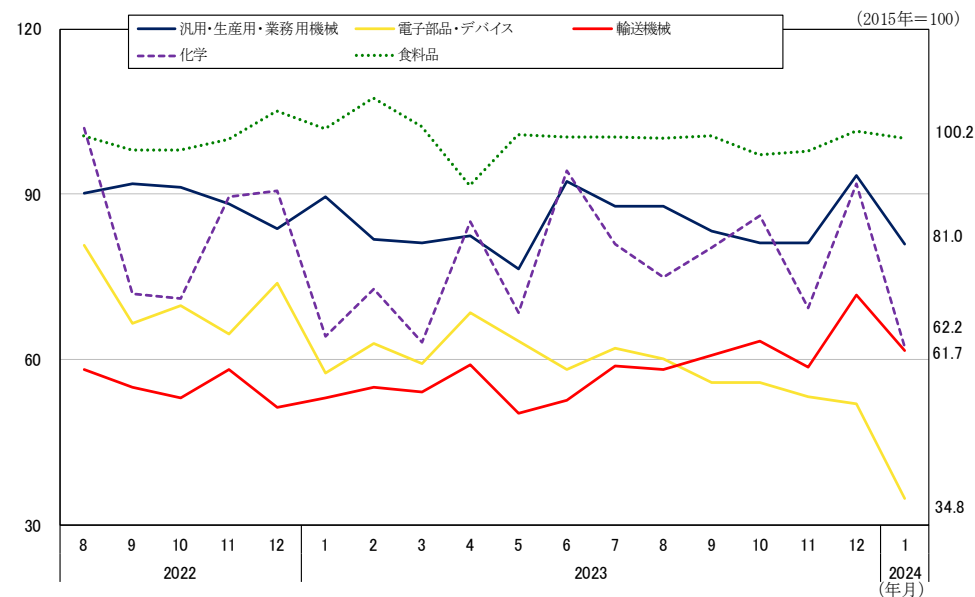
(資料) 埼玉県

1月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、73.4で前月比12.0%低下した(2か月ぶりの低下)。繊維(織物製繊維製品、不織布)などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、輸送機械(自動車エンジン、乗用車)などが低下。

出荷指数(同)は、80.5で同4.5%低下した(2か月ぶりの低下)。化学(医薬品)、生産用機械(半導体製造装置、コンクリート機械)など上昇したが、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)、汎用機械(空気圧機器、固定比減速機)などが低下した。

在庫指数(同)は、85.0で同1.2%上昇した(7か月ぶりの上昇)。電子部品・デバイス(混成集積回路、整流素子)、化学(合成樹脂塗料、印刷インキ)などが低下したが、プラスチック製品(プラスチック製容器、合成皮革)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、特殊印刷用紙)などが上昇した。

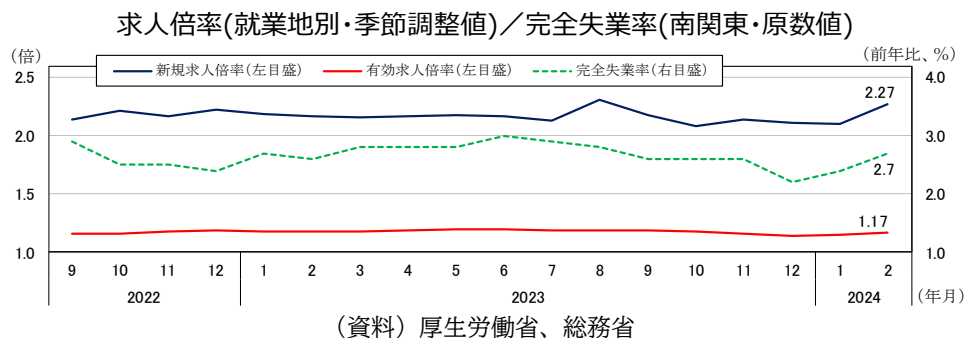
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

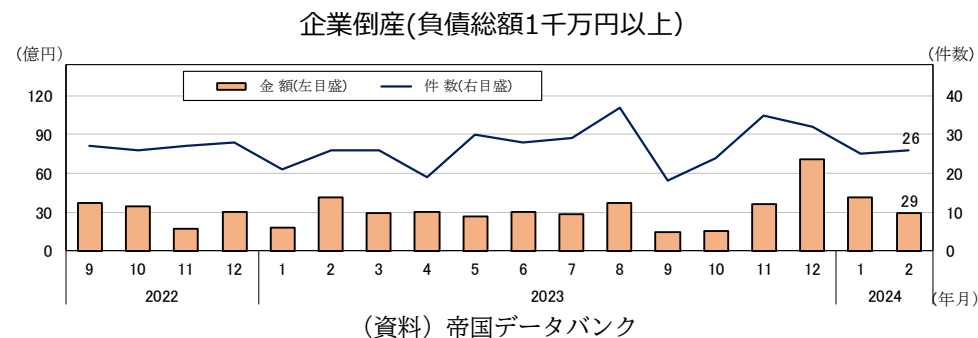
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、100.2で前月比1.3%低下し、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、81.0で同13.3%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、34.8で同32.9%低下し、3か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、61.7で同13.8%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、62.2で同32.2%低下し、2か月ぶりの低下となった。

## 6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している ⇒ 前月比



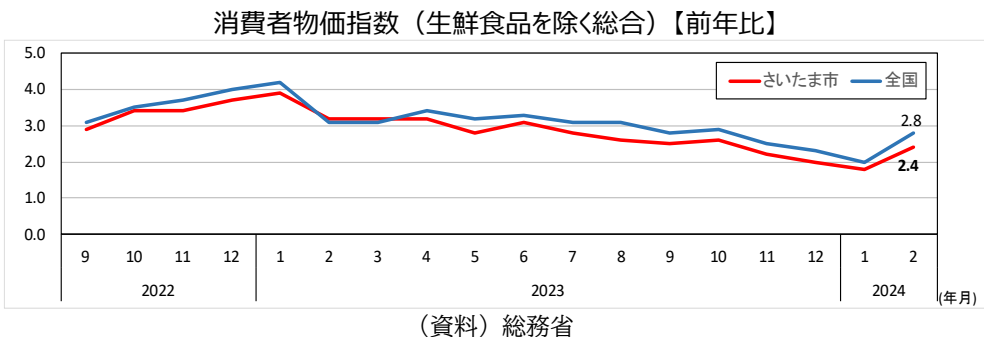
2月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.17倍で前月比0.02ポイント上昇した(2か月連続の上昇)。また、新規求人倍率(同)は、2.27倍で前月比0.17ポイント上昇した(3か月ぶりの上昇)。  
完全失業率(南関東、原数値)は、2.7%で前年同月比0.1ポイント上昇した(前年同月比3か月ぶりの上昇)。

## 7 企業倒産 ~増加傾向にある ⇒ 前月比



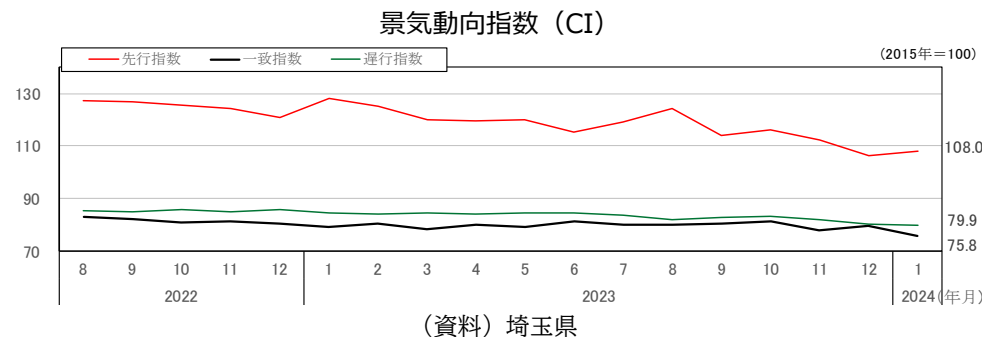
2月の企業倒産件数は26件で前年同月比横ばいとなった。また、負債総額は29億円で同比12億円の減少となった(5か月移動平均では、件数は前年比2件の増加、負債総額は同比10億円の増加)。  
業種別にみると、建設業が最多で8件。次いで卸売業が6件、製造業が4件となっている。主因別では、販売不振が20件となっている。

## 8 消費者物価 ~上昇率がやや鈍化している ⇒ 前月比



2月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、105.7で前年同月比2.4%上昇した(29か月連続の前年同月比上昇)。  
光熱・水道(ガス代など)は下落したものの、食料(菓子類など)や教養娯楽(宿泊費など)などが上昇し、全体を押し上げている。

## 〈参考〉景気動向指数(CI) ~足踏みを示している ⇒ 前月比



- 1月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、75.8で前月比3.7ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、108.0で同1.6ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、79.9で同0.2ポイント下降し、3か月連続の下降となった。